課題番号　２４

にんにくの安定生産

対象：ＪＡたきかわにんにく生産農家　17戸（14戸、１グループ３戸）

１　活動の背景

【現状】・R5年産よりにんにく本格栽培開始
・新規作付者が多く、基本技術の励行が不十分のため、萌芽不良、病害などトラブル発生
・R6より基本技術の励行を推進事項として支援実施

残された問題

低pH　　春腐病　　さらに・・・

R7年産から本格販売開始
☛ほ場ごとの正確な収量を知りたい（JA担当者）

【具体的推進事項】基本技術の励行
適正pH　　5戸→目標：10戸
春腐病適期防除　0戸→目標：10戸

一緒に戸別巡回しながら調査しませんか？（普及）

２　活動の経過

令和7年産（R6.9～R7.7）　　令和8年産

FAX情報配信

春腐病防除推進

青森先進地視察実施

青森県での春腐病防除手法を修得

pH矯正提案

生育・収量調査

多くの関係機関と共同で実施しました！

栽培講習会の開催

３　成果の具体的内容

①適正pH達成戸数　５戸→6戸／10戸（60%）

適正pHの目安
6.0～6.5

農業者	R6年産適正pH達成	pH矯正実施（R7年産）	R7年産適正pH達成
A	×	×	×
B	○	○	×
C	×	×	○
D	×	○	×
E	○	×	○
F	×	○	×
G	×	○	○
H	○	○	○
I	○	○	○
J	○	○	○
10戸	5戸	7戸	6戸

令和８年産にんにくpH矯正実施戸数
10戸/10戸
（100%！）

技術の定着とpH矯正の意識が定着した！

低pH対策技術の習得

花・野菜技術普及室、農協、普及センターで共同調査・提案

②春腐病適期防除　0戸→10戸／10戸（100%）

防除暦の改訂と推進により春腐病防除の意識向上

発病程度	戸数
無	1
小	8
中	1

小発生に抑えられた！

農業者コメント
Aさん：春腐病の発病を抑えた農家の防除薬剤を知りたい！
Bさん：生育の後半でも春腐病に感染することを知れて良かった。

栽培講習会の開催

講習会を通じて春腐病の防除意識の向上が図られた！

地域平均収量は乾燥球重で**952kg/10a**を達成！（道基準：800kg/10a）
☛基本栽培技術が定着し、安定多収を目指す次のステージへ！

４　今後の課題と対応

1　春腐病防除体系の検討と適期防除の推進
2　低pHほ場における炭酸カルシウム等適量施用の推進

地域平均反収が基準を超え、基本技術が定着してきたことから本年で一般課題を終了とする。

【空知農業改良普及センター中空知支所 主査（地域支援）赤津 哲也】